

# 令和3年度 第1回 甲賀市地域公共交通活性化協議会 次第

- ・日 時 令和3年5月27日(木)  
14:00～16:00
- ・場 所 まちづくり活動センター  
「まる一む」2階大会議室

## 議 事

### (1) 報告事項

報告第1号 役員及び自動車部会委員の選出について

報告第2号 甲賀市地域公共交通網形成計画の中間評価について

報告第3号 近江鉄道沿線地域公共交通再生協議会の進捗について

### (2) 協議事項

第1号議案 令和2年度事業報告について

第2号議案 令和2年度収支決算報告について

第3号議案 令和3年度事業計画(案)について

第4号議案 令和3年度収支予算(案)について

第5号議案 土山地域のコミュニティバス停留所新設について

### (3) その他

## 甲賀市地域公共交通活性化協議会について

本市では、「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」(平成19年法律第59号)の規定に基づく法定協議会である「甲賀市地域公共交通活性化協議会」を平成21年3月13日に設置しました。

本協議会では、地域交通について総合的な検討を行い、関係者と合意形成を図りながら、本市にとって最適な公共交通を実現するため、実証実験や利用促進などを検討・実施しております。

また、本協議会には自動車部会を設置しており、本部会では道路運送法の規定に基づく地域公共交通会議の機能を有しておりますことから、主にコミュニティバスの路線再編やダイヤ改定、運賃改定等を運行事業者からの提案に基づいて協議いただくこととなっております。

## 【報告第1号】 役員及び自動車部会委員の選出について

### 役員及び自動車部会委員の選出について

#### 1. 役員を選出について

本協議会委員の任期は2年間であり、今年度が改選年度となります。次ページに令和3年度協議会委員一覧を記載しております。学識経験者・甲賀市PTA連絡協議会につきましては、現時点で委員が未確定であるため、名簿氏名に「選出中」と表記しております。

監査委員につきましては、昨年度同様、甲賀市区長連合会、甲賀市商工会より推薦いただいた委員に依頼しております。

(1) 副会長                      甲賀市建設部                      寺村 弘

(2) 監査委員                      甲賀市区長連合会                      杉本 龍弥                      委員

甲賀市商工会                      吉川 徹                      委員

甲賀市地域公共交通活性化協議会設置要綱（抜粋）

（組織）

第4条 協議会は、会長、副会長及び委員をもって組織する。

2 会長は、副市長をもって充てる。

4 副会長は、委員の中から会長が指名する。

（監査）

第12条 協議会に監査委員を2人置く。

2 監査委員は、委員の中から会長が指名する。

#### 2. 自動車部会委員の選任について

自動車部会員につきましては、下記の規定に基づき、4ページ記載の委員名簿のとおりとさせていただきます。

甲賀市地域公共交通活性化協議会自動車部会規程（抜粋）

（組織）

第4条 部会は、部会長及び部会委員をもって組織する。

2 部会長は、協議会会長が指名する。

4 部会委員は、次に掲げる者のうちから協議会会長が指名する。

(1) 国及び県における公共交通に係る行政機関の職員

(2) 地域における公共交通に係る諸団体及び利用者の代表者

(3) 関係バス事業者

(4) 一般旅客自動車運送事業者の事業用自動車の運転者が組織する団体が指名する者

(5) 公共交通に係る部署の市の職員

(6) 前各号に掲げるもののほか、市長が適当と認める者

## 甲賀市地域公共交通活性化協議会 委員

(敬称略)

役 職	機 関 及 び 団 体 名	職 名	氏 名	備 考
会 長	甲 賀 市	副 市 長	正木 仙治郎	
副 会 長	甲 賀 市 建 設 部	部 長	寺 村 弘	

### 【委員】

No.	分 野	機 関 及 び 団 体 名	職 名	氏 名	自動車部会	備 考
1	所 管 運 輸 行 政	国土交通省近畿運輸局滋賀運輸支局	首席 運輸企画専門官	野 口 英 樹	○	
1	広 域 交 通 行 政	滋賀県土木交通部交通戦略課	課長補佐	福 島 森	○	
1	道 路 管 理 者	滋賀県甲賀土木事務所	所 長	奥 山 善之	○	
1	所 管 警 察 ( 交 通 )	滋賀県甲賀警察署交通課	交通課長	中 井 拓	○	
2	学 識 経 験 者			< 選 出 中 >	○	
3	市 民 代 表	甲 賀 市 区 長 連 合 会	会 長	杉 本 龍 弥	○	監査委員
3	市 民 代 表	ゆ う ゆ う 甲 賀 ク ラ ブ	土山支部会長	久 保 重 衛	○	
3	市 民 代 表	甲 賀 市 身 体 障 害 者 更 生 会	会 長	増 田 定 雄	○	
3	市 民 代 表	甲 賀 市 P T A 連 絡 協 議 会		< 選 出 中 >	○	
3	関 係 団 体 ( 福 祉 )	社会福祉法人甲賀市社会福祉協議会	法人運営部副部长	田 代 靖 明	○	
3	関 係 団 体 ( 商 工 )	甲 賀 市 商 工 会	事務局長	吉 川 徹	○	監査委員
4	鉄 道 事 業 者	西日本旅客鉄道株式会社 近畿統括本部京都支社地域共生室	室 長	野 口 明		
4	鉄 道 事 業 者	近 江 鉄 道 株 式 会 社	執行役員鉄道部長	遠 藤 賢 一		
4	鉄 道 事 業 者	信 楽 高 原 鐵 道 株 式 会 社	常 務	松 田 直 道		
4	バ ス 協 会	一般社団法人滋賀県バス協会	専務理事	野 村 義 明	○	
4	タ ク シ ー 協 会	一般社団法人滋賀県タクシー協会	専務理事	濱 田 隆 久	○	
4	一 般 乗 合	滋 賀 バ ス 株 式 会 社	代表取締役	隠 岐 公 史	○	
4	一 般 乗 合	株式会社シガ・エージェントシステム	代表取締役	松 岡 政 敏	○	
4	一 般 乗 合	帝 産 湖 南 交 通 株 式 会 社	顧 問	中 島 敏	○	
5	一般旅客自動車運送事業者の事業 用自動車の運転者が組織する団体	私鉄労働組合滋賀県協議会	幹 事	田 中 徳	○	
6	一 般 乗 用	滋 賀 タ ク シ ー 株 式 会 社	業務課長	山 本 義 行	○	
6	一 般 乗 用	た ぬ き タ ク シ ー 株 式 会 社	取締役	林 輝 彦	○	
6	一 般 乗 用	株式会社ビジネスサービス滋賀	部 長	大 伴 裕 二	○	
7	甲 賀 市 職 員	甲 賀 市 総 合 政 策 部	次 長	出 嶋 正 伸	○	
7	甲 賀 市 職 員	甲 賀 市 産 業 経 済 部	次 長	近 藤 直 人	○	
7	甲 賀 市 職 員	甲 賀 市 健 康 福 祉 部	次 長	伴 統 子	○	
7	甲 賀 市 職 員	甲 賀 市 教 育 委 員 会 事 務 局	次 長	乾 齊 司	○	
7	甲 賀 市 職 員	甲 賀 市 建 設 部	次 長	樋 口 泰 司	○	自動車部会長
	事務局	甲 賀 市 建 設 部 公 共 交 通 推 進 課	課 長	村 田 稔 明		事務局長
			係 長	中 村 正 太		
			主 査	服 部 淳 平		
			主 事	小 野 山 忠 司		
			主 事	田 中 亮 平		

## 【報告第2号】 甲賀市公共交通網形成計画の中間評価について

本市では、平成29年6月に策定した「甲賀市地域公共交通網形成計画」に基づき、「住みよさと活力を支え、使いやすい地域公共交通の確保・維持」にむけた事業を推進しており、以下のとおり4年毎に評価を行うとともに、必要に応じて計画の見直しを実施することとしております。

つきましては、市民意識調査の結果をもとに計画の中間評価を行いましたので報告いたします。また、今年度は、評価結果をもとに、次期4年間の具体的な行動計画を作成いたします。

### ※市民意識調査の概要

#### 1 調査の目的

市民の市政についての意見や評価を、意識調査により統計的に把握し、今後の市政を推進するための基礎資料とすることを目的に調査を実施。

#### 2 調査の概要

■調査地域:甲賀市全域 ■調査対象:市内在住の18歳以上の男女

■調査標本数:3,000人 ■調査時期:令和2年9月1日～9月15日

■配布数:3,000件 ■回収件数、有効回答数(率):1,247件(41.6%)

(「甲賀市地域公共交通網形成計画 5-4 基本方針に基づく目標」抜粋)

#### 5-4 基本方針に基づく目標

基本方針を踏まえ、各種事業実施の総合的な効果を検証するための目標および平成40年度における目標値を以下の通り設定します。

##### 目標1：分かりやすく使いやすい運行体系への再編

地域公共交通網の展開方針（地域公共交通の展開イメージ）に基づき、バス路線網の再編の実施および交通結節点における鉄道とバスやバス相互等、地域公共交通相互の良好な乗り継ぎ環境を形成し、あわせて適切な情報提供を継続的に実施することで、分かりやすく使いやすい運行体系を構築します。

##### ●目標値

甲賀市コミュニティバスの利用者数：60万人/年以上

- 人口減少や高齢化が予測される中、分かりやすく使いやすい運行体系への再編により、現在の甲賀市コミュニティバス利用者数を維持  
⇒甲賀市コミュニティバス利用者数を集計し評価（中間年・目標年）  
※平成27年度年間利用者数：61.8万人/年  
※平成27年度人口：9.2万人  
※目標年（平成40年度）人口：8.7万人（甲賀市都市計画マスタープラン）

甲賀市コミュニティバス・鉄道の満足度：3.0点以上（5点満点）

- 分かりやすく使いやすい運行体系への再編により、満足度を向上  
⇒甲賀市コミュニティバス・鉄道利用者アンケートを実施し、項目全てを評価（中間年・目標年）  
※バス利用者アンケートにおける「バスの全体的な満足度」：2.88点  
※市民アンケートにおける鉄道利用者の「鉄道の全体的な満足度」：3.00点  
（満足5点、やや満足4点、普通3点、やや不満2点、不満1点）

##### 目標2：みんなの移動を支え、環境にもやさしい地域公共交通の確保・維持

地域特性や利用特性、需要等を見極めつつ、継続的に運行の効率的、効果的な改善を図ります。また、普段の利用だけでなく観光やイベントとも連携し、情報の提供も積極的に実施することで利用促進を図ります。さらに、バリアフリーや環境対応車両を積極的に導入し、人と環境にやさしく、みんなの移動を支える地域公共交通を目指します。

##### ●目標値

甲賀市コミュニティバスの利用者の少ない運行便数の割合：20%以下

- デマンドも含めた効率的な運行への改善により、起点から終点まで利用者のいない便を現在の約3分の2の割合に削減  
⇒甲賀市コミュニティバスの利用者無し運行便数の割合を集計し評価（中間年・目標年）  
※平成27年度利用者無し運行便数の割合：32.3%

甲賀市コミュニティバス・鉄道のバリアフリー対応車両導入：全ての車両のバリアフリー化

- 今後、高齢者等の利用者が増加する可能性が高いことも踏まえ、バリアフリー対応車両を積極的に導入  
⇒導入状況を把握し評価（中間年・目標年）  
※平成26年度3台、平成27年度2台のノンステップバスを導入

【評価項目1】

甲賀市コミュニティバスの利用者数：60万人/年以上

- ・人口減少や高齢化が予測される中、分かりやすく使いやすい運行体系への再編により、現在の甲賀市コミュニティバス利用者数を維持  
⇒甲賀市コミュニティバス利用者数を集計し評価（中間年・目標年）  
※平成27年度年間利用者数：61.8万人/年  
※平成27年度人口：9.2万人  
※目標年（平成40年度）人口：8.7万人（甲賀市都市計画マスタープラン）

平成27年度から令和2年度までの乗車人員、運行補助額等の推移は表1のとおりである。

表-1より、全体の運行距離(営業キロ数)の変化はあまりなく、利用者数は令和元年度に増加したものの減少傾向にある。特に、令和元年度は4、5月の一斉休校や外出の自粛が大きく影響している。(学校再開後で令和元年度と比較して概ね90%で推移)

今年度についても、バスに限らず、公共交通の利用を控える動きも見られることから、年間利用者数60万人の確保は難しい状況であるが、計画に基づく再編を進める一方で感染対策も十分に行っていくことが重要と考えであり、昨年度にバス全車両に抗菌コーティングを実施した。

(表-1 乗車人員、運行補助額等の推移)

	H27	H28	H29	H30	R1	R2
走行キロ(km)	1,676,265	1,680,324	1,698,102	1,682,040	1,693,992	1,676,746
輸送人員(人)	618,098	599,396	582,457	558,269	578,213	490,282
運送収入(円)	81,397,246	80,792,907	79,194,023	77,561,103	75,199,172	59,424,229
H27人員対比	100%	97.0%	94.2%	90.3%	93.5%	79.3%

表-2は市内の人口動態を示している。

多くの割合を占める通学定期利用層の減少が進むとともに、75歳以上の割合が増加していく傾向は続いていくものと考えている。

(表-2 各年度3月の人口推移)

単位：人

	H27	H28	H29	H30	R1	R2
総人口	91,949	91,587	91,130	90,833	90,510	89,901
7～22歳人口	14,977	14,828	14,526	14,419	14,368	14,073
7～22歳人口率	16.3%	16.2%	15.9%	15.9%	15.9%	15.7%
75歳以上人口	11,663	12,051	12,246	12,517	12,658	12,646
75歳以上人口率	12.7%	13.2%	13.4%	13.8%	14.0%	14.1%
H27総人口対比	100%	99.6%	99.1%	98.8%	98.4%	97.8%

※参考：土山地域の通学年代人数(7～22歳) 1,047 1,020

表-3は無料乗車券の利用推移である。令和元年10月から、高齢者の対象を75歳以上に引き下げたため、利用枚数が増えており、減少傾向の中、令和元年度に利用者数が増加した要因の一つと考えている。

(表-3 無料乗車券利用枚数の推移)

単位：枚

	H27	H28	H29	H30	R1	R2
障がい者	51,336	43,913	49,370	53,496	57,027	50,307
高齢者	47,617	41,067	44,280	47,068	63,496	57,602

※令和元年10月から、高齢者の対象を75歳以上に引き下げている。

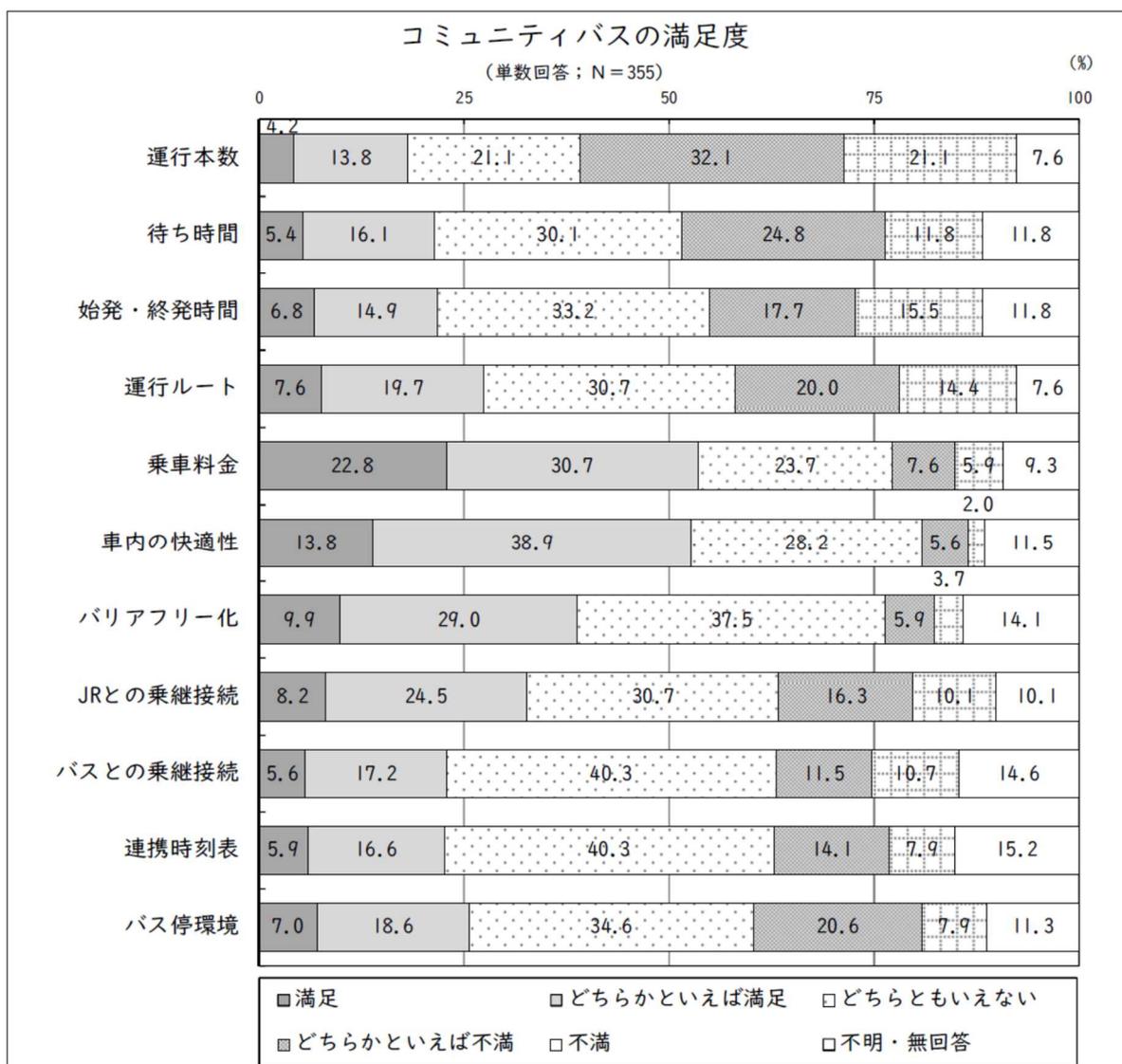
【評価項目2】

甲賀市コミュニティバス・鉄道の満足度：3.0点以上（5点満点）

- ・分かりやすく使いやすい運行体系への再編により、満足度を向上  
 ⇒甲賀市コミュニティバス・鉄道利用者アンケートを実施し、項目全てを評価（中間年・目標年）
- ※バス利用者アンケートにおける「バスの全体的な満足度」：2.88点
- ※市民アンケートにおける鉄道利用者の「鉄道の全体的な満足度」：3.00点  
 （満足5点、やや満足4点、普通3点、やや不満2点、不満1点）

① コミュニティバスの満足度について

市民意識調査において、11項目の満足度について調査したところ、以下の結果となった。「満足」が「不満」の割合を上回った項目は、「乗車料金」、「車内の快適性」、「バリアフリー化」の3項目であり、その他については、「不満」が「満足」の割合を上回る結果となった。



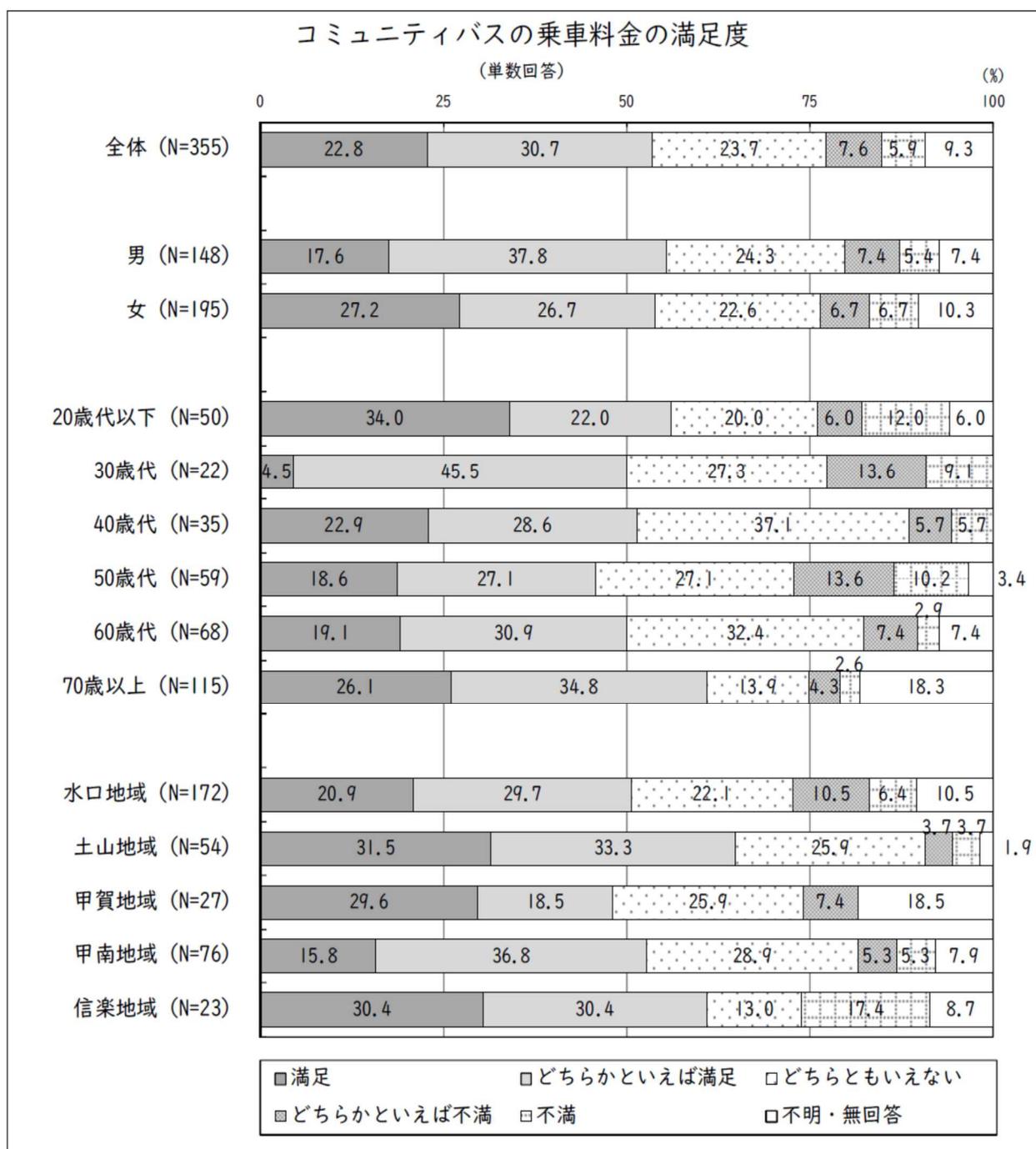
上記11項目のうち、評価目標を満たした3項目のうち「乗車料金」、目標に満たなかった「運行本数」、「運行ルート」、「バス停環境」の3項目についてのクロス集計からその要因を分析する。

・乗車料金

乗車料金については、全世代から比較的高評価をいただいている。要因としては、特に70歳以上からの評価が高いため、本市が実施している障がいを持つ方や75歳以上の高齢者を対象に「無料乗車制度」を導入していることや「フリー乗車券(1日500円)」を販売していることが影響していると考えられる。

一方、学生定期利用層以外の年齢層で「不満」評価割合が高いことから、250円の料金設定が高いと感じておられる方もいるものと考えている。

土山地域で満足度が高い要因として、南草津土山線の運行や大河原～貴生川など長距離区間の運行が料金の低価格感を受けていることが影響していると考えられる。

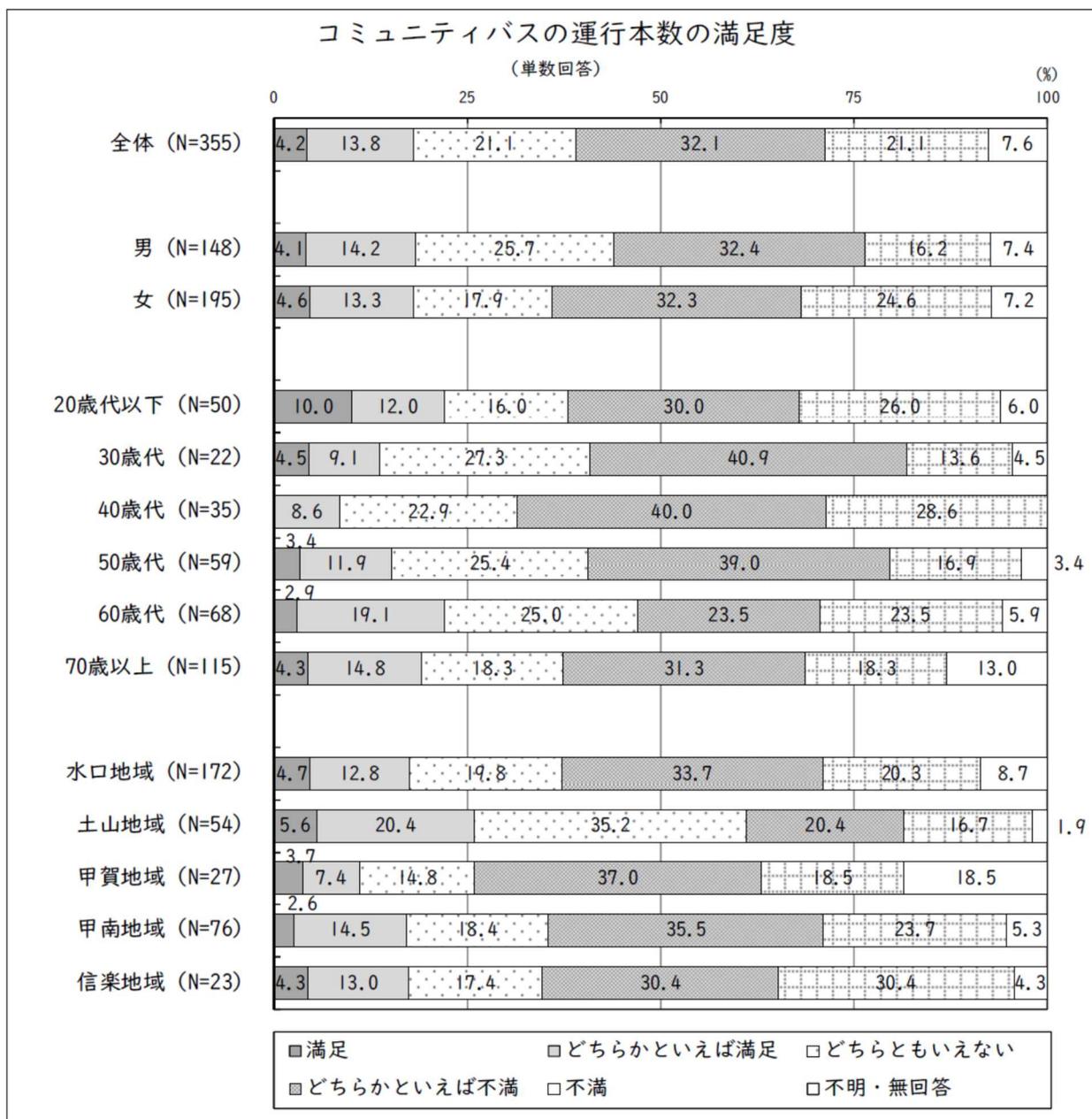


・運行本数

運行本数については、11項目で最も満足評価が少ない項目である。全体的に運行本数が少ないと感じているその一方で「どちらともいえない」が21%占めていることから、土山地域で約1時間に1本程度の運行を確保していることなどが影響していると考えられる。

甲賀地域は満足度が最も低くなっているが、学校への送迎に重きをおいた運行形態であることから、他地域と比較して運行本数が少ないことが影響していると考えている。

本市は車中心の生活となっているため、利便性を車と比較する方が多く、バスを乗る機会があっても都市圏での乗車となるため、「乗りたいときにバスがある」ことが条件になっていると考えられる。

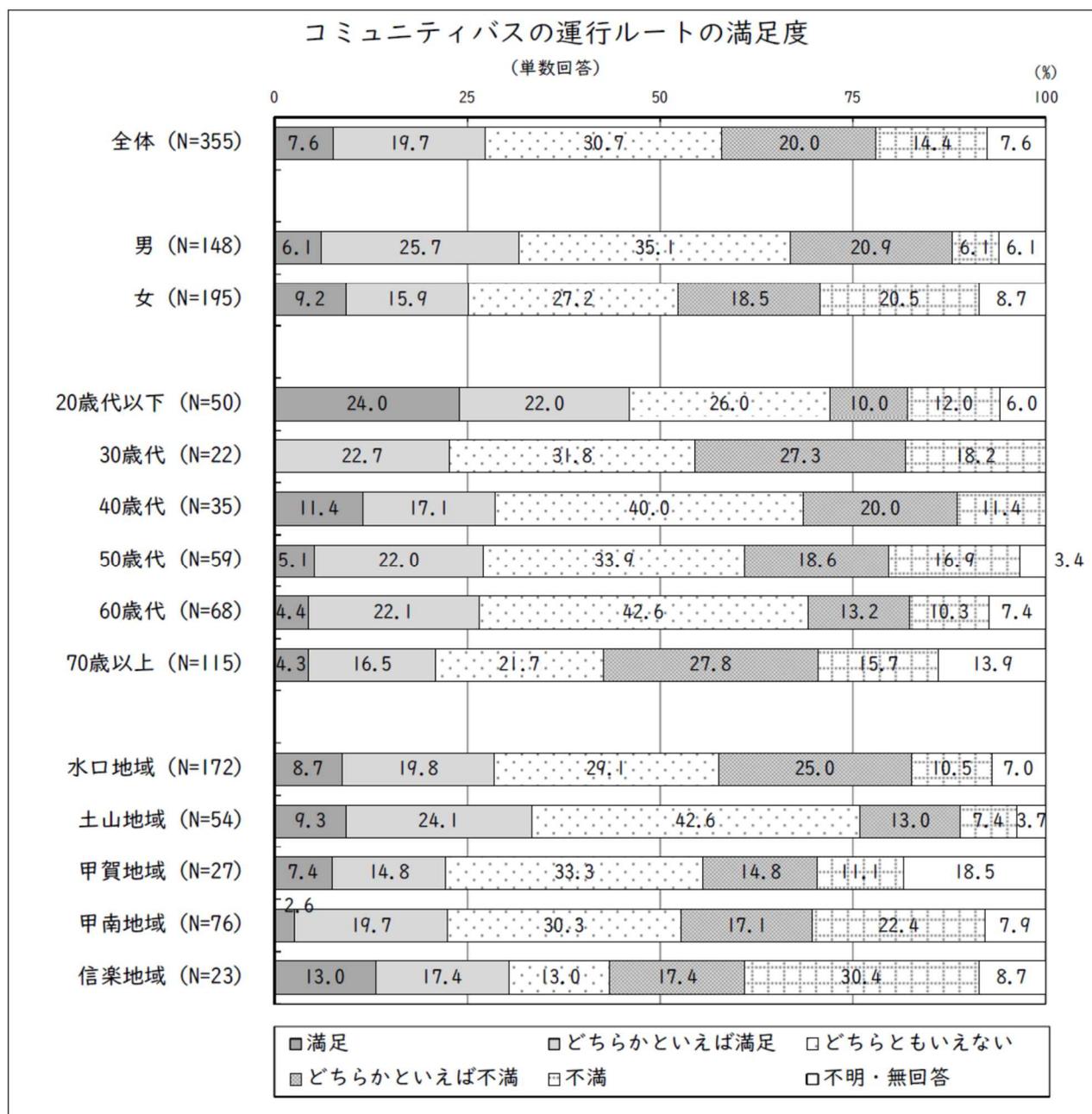


・運行ルート

全体として、半数以上の方が不満を感じている。

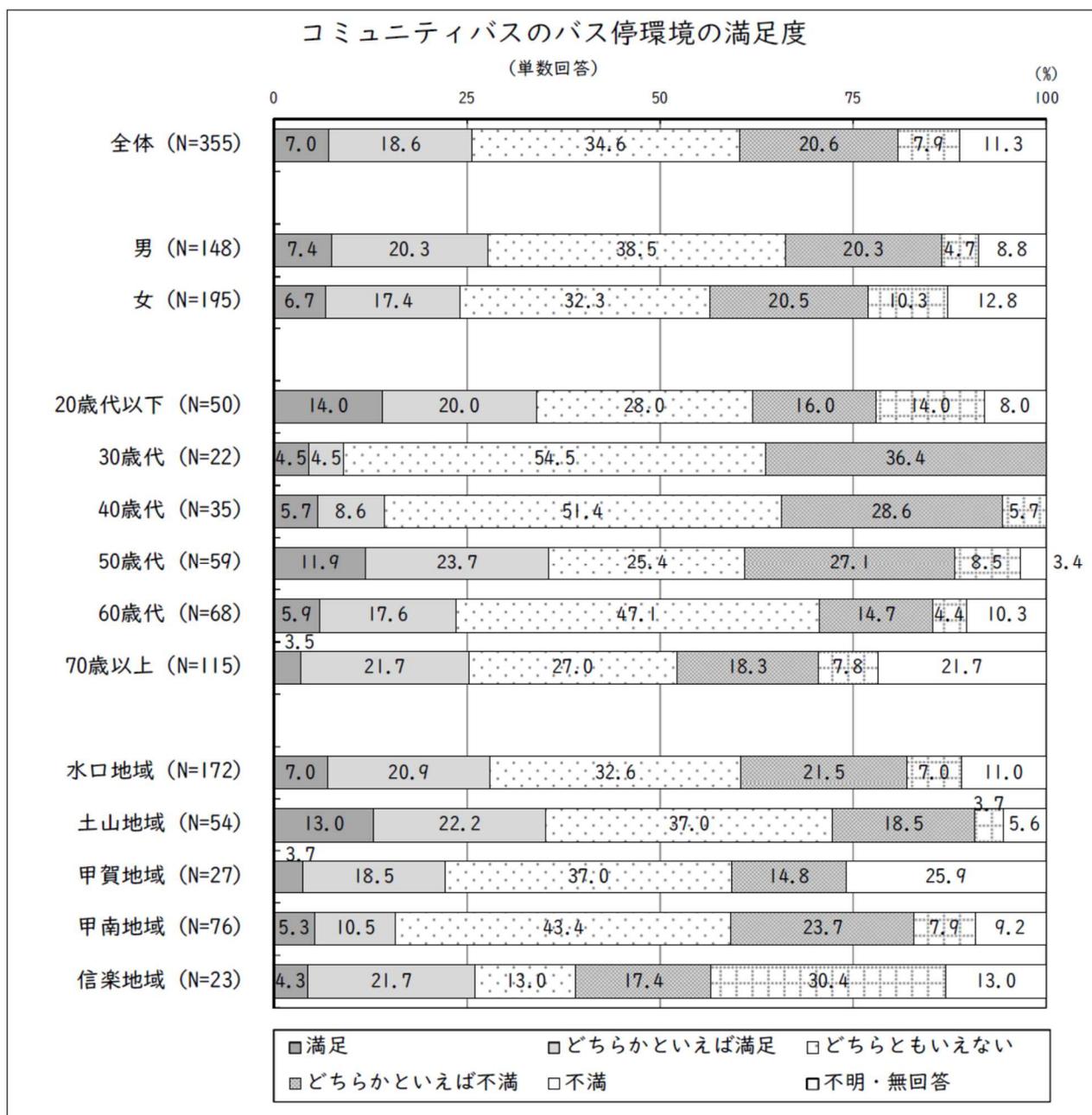
まず、年齢別にみると20歳以下は「満足」が「不満」を上回っている。この層は、バス停までの移動で負担を感じていないことや車を所有していないことが原因と考えられる。その他の層は、不満が上回っており、バス停までの移動距離が遠く、不便と感じておられることが大きな要因と考えている。

地域別では、甲賀・甲南地域で満足度が低い理由は、運行系統が少ないことが要因であり、その他地域は、両地域と比較して路線数が確保されているため、満足度が若干高い。土山地域では、満足度が高く、不満も多い。その要因は、国道1号から大河原までのルートが確保されている一方、郊外へのルートが少ないためと考えられる。



・バス停環境

全年齢層に共通する項目として、バス停にベンチや照明、屋根がなかったり、片側標柱のバス停が存在していると考えている。20歳以下で不満が多い理由は、上記以外に貴生川駅を中心とした通学利用が多いことから、貴生川駅での待ち時間に、雨や風をしのげる設備がないことが要因と思われる。

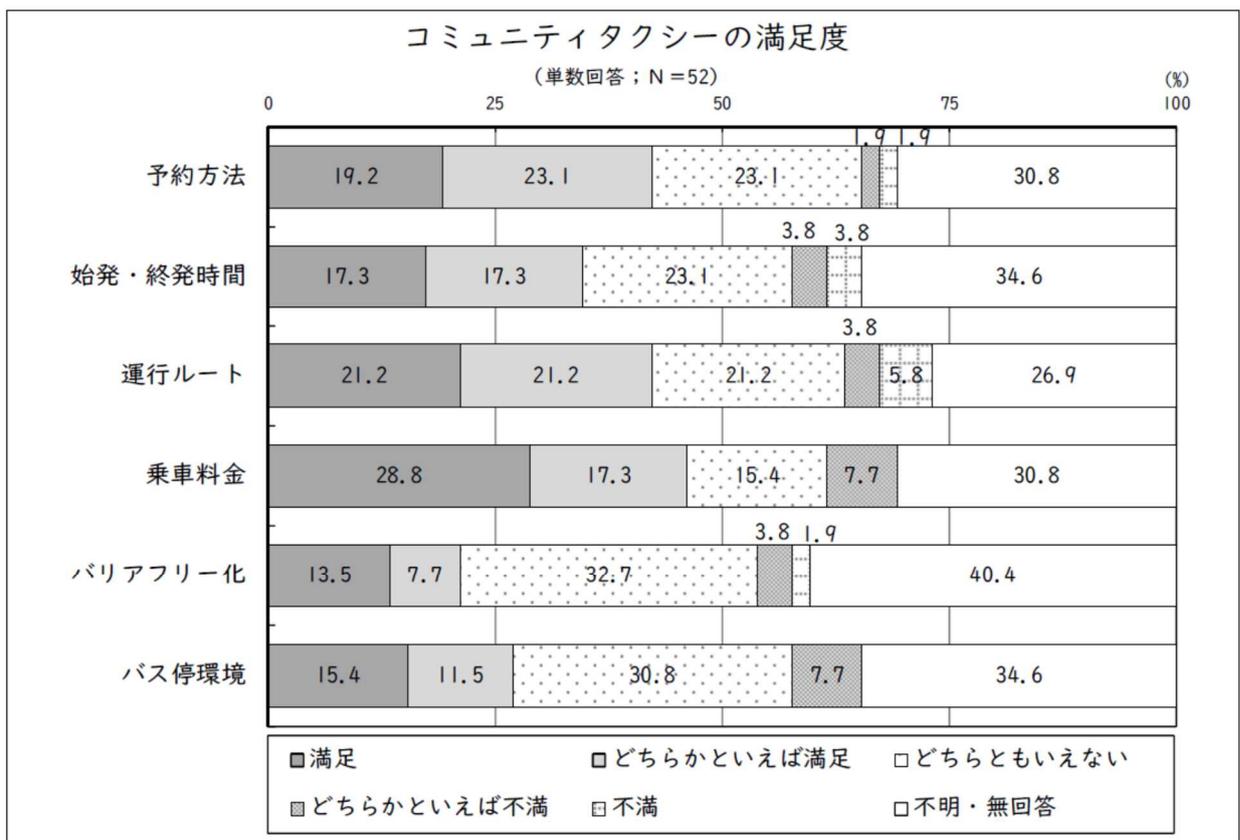


② コミュニティタクシーの満足度について

6項目のうち、4項目で「満足」が「不満」の割合を上回った一方、「バス停環境」、「バリアフリー化」の2項目で「不満」が「満足」の割合を上回った。

満足度が高い「予約方法」については、導入時から、改善を重ねながら利便性を向上してきた成果であり、乗車料金については、タクシーに近いサービスで無料制度やフリー券も含め、コミバスと同様の料金設定で乗車でき、運行ルートについては、エリア内で出発地と目的地を設定できることが高評価につながっていると考えている。

一方で、評価の低かったバリアフリー化については、車いすでの乗車はバスと比べて不便と感じておられるためであり、バス停環境については、コミバスと同様の要因であると分析している。

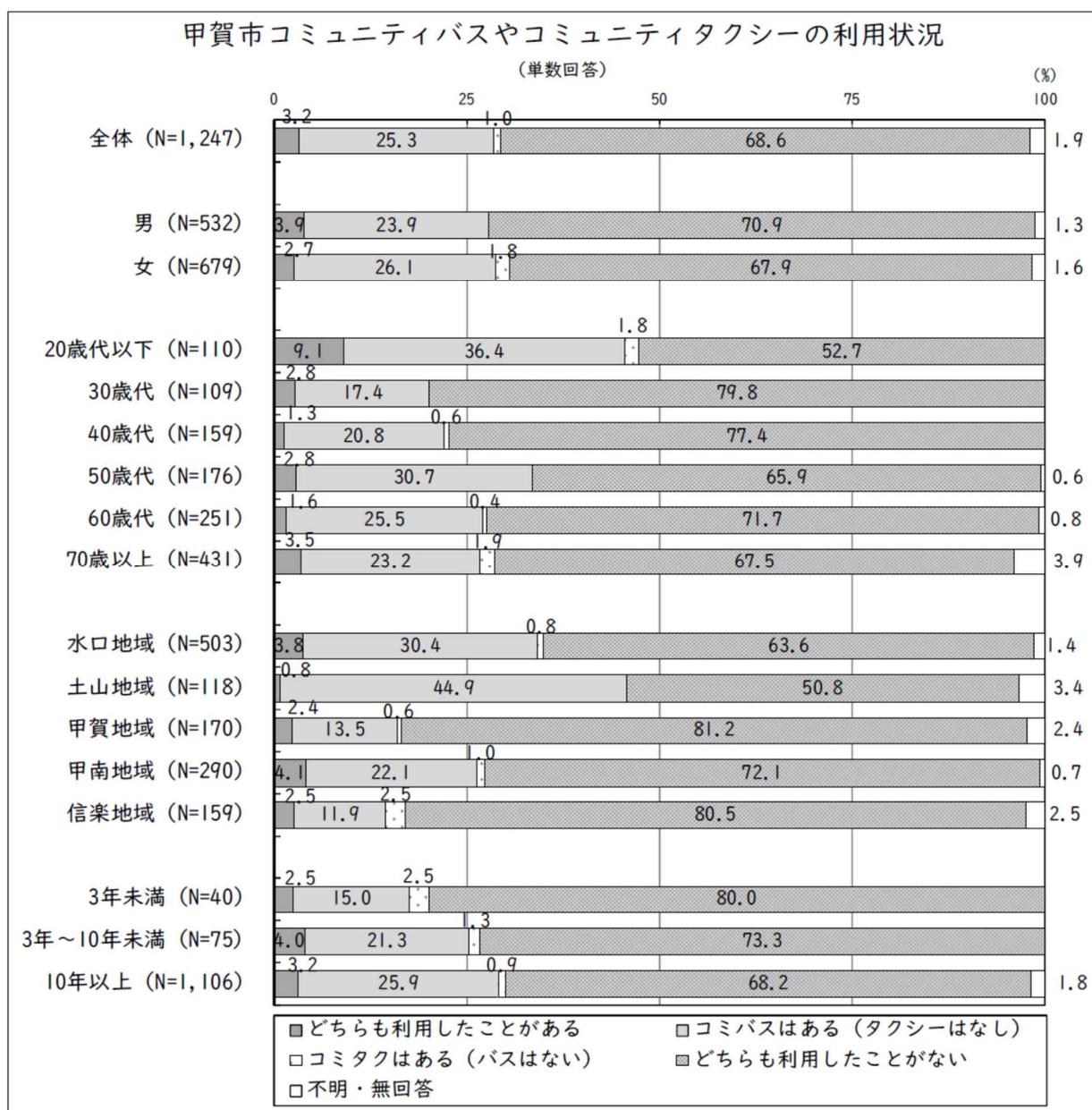


・コミバス、コミタクの利用状況について

約70%の方が、どちらも乗ったことがないという結果であった。

年齢別にみると、20歳以下は通学利用や自動車を保有していないことから、半数で利用経験があるが、それ以外の層は約70%前後で利用経験がない状況であった。その要因としては、本市の自動車保有率からも、自動車利用が主となっていることも考えられるが、路線網の改善以前の問題として、時刻やバス停の位置などコミバス概要の情報提供が十分でないことや公共交通機関を利用することの重要性を十分に発信できていないことがあると考えている。

地域別では、鉄道駅が存在しない土山地域で約半数の利用経験があり、水口地域では比較的路線や本数が充実しているため約35%の利用経験がある。一方で、運行本数の少ない甲賀地域や信楽地域では利用経験がない方が約80%を超えていることから、同地域での路線の改善等を検討する必要がある。



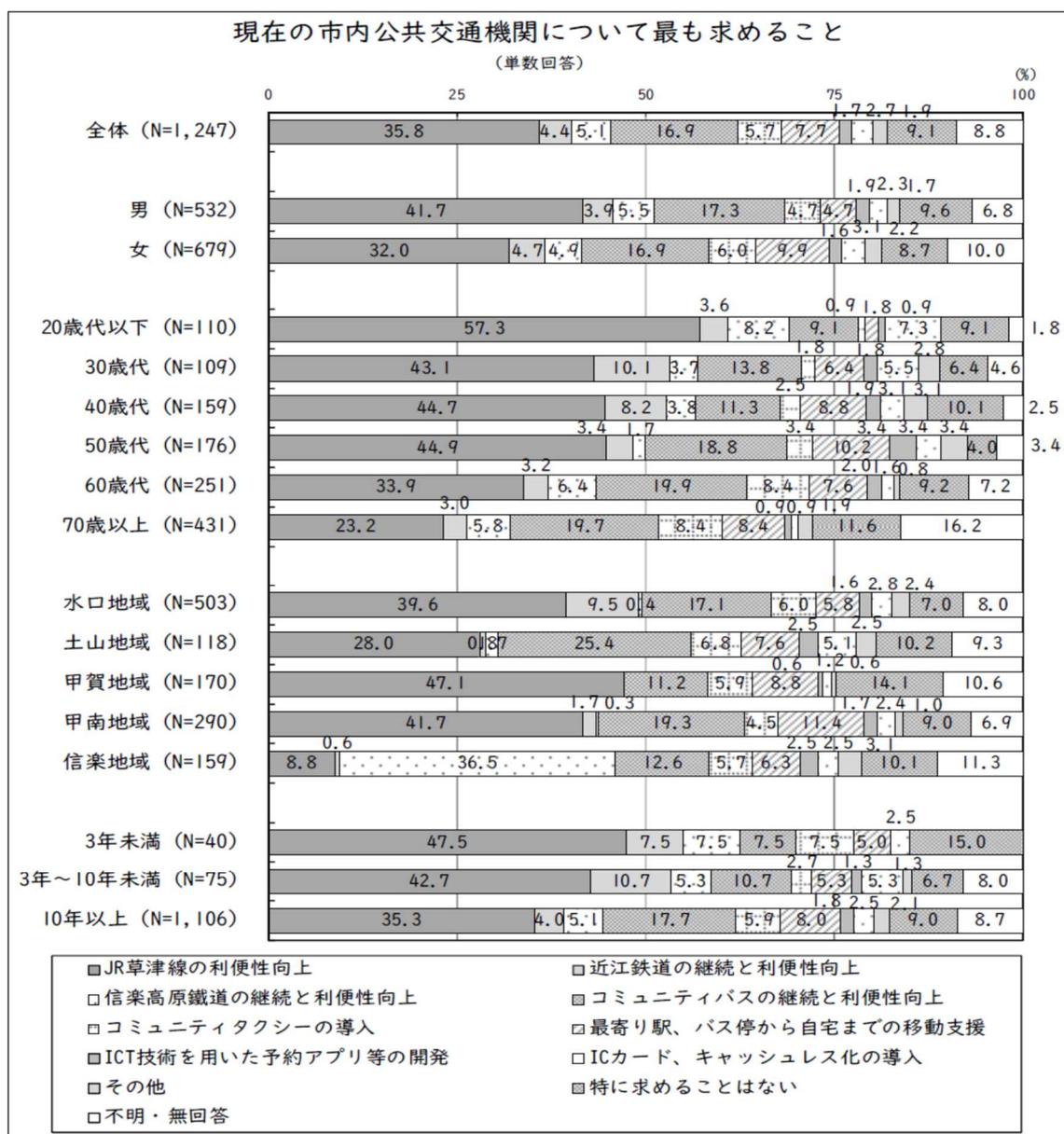
### ③ 鉄道の満足度について

市民意識調査において、市内公共交通機関8項目の必要度について調査したところ、以下の結果となった。

年齢別にみると、特に通学通勤世代がJR草津線の利便性など「広域移動」について改善を望まれていることが分かる。一方、年代が上がるにつれて、コミュニティバスやコミタク、バス停までの移動支援など「近距離移動」の改善を望まれている割合が増えている。

地域別にみると、JR草津線の駅を有する水口、甲賀、甲南地域では、全体の傾向よりもJR草津線の改善を望まれているが、土山地域では、鉄道駅が存在しないため、コミバスへの期待が大きい一方、信楽地域では、信楽高原鐵道の利便性向上を望まれている状況である。水口地域では、他の地域では見られない近江鐵道の利便性向上が約10%ある。

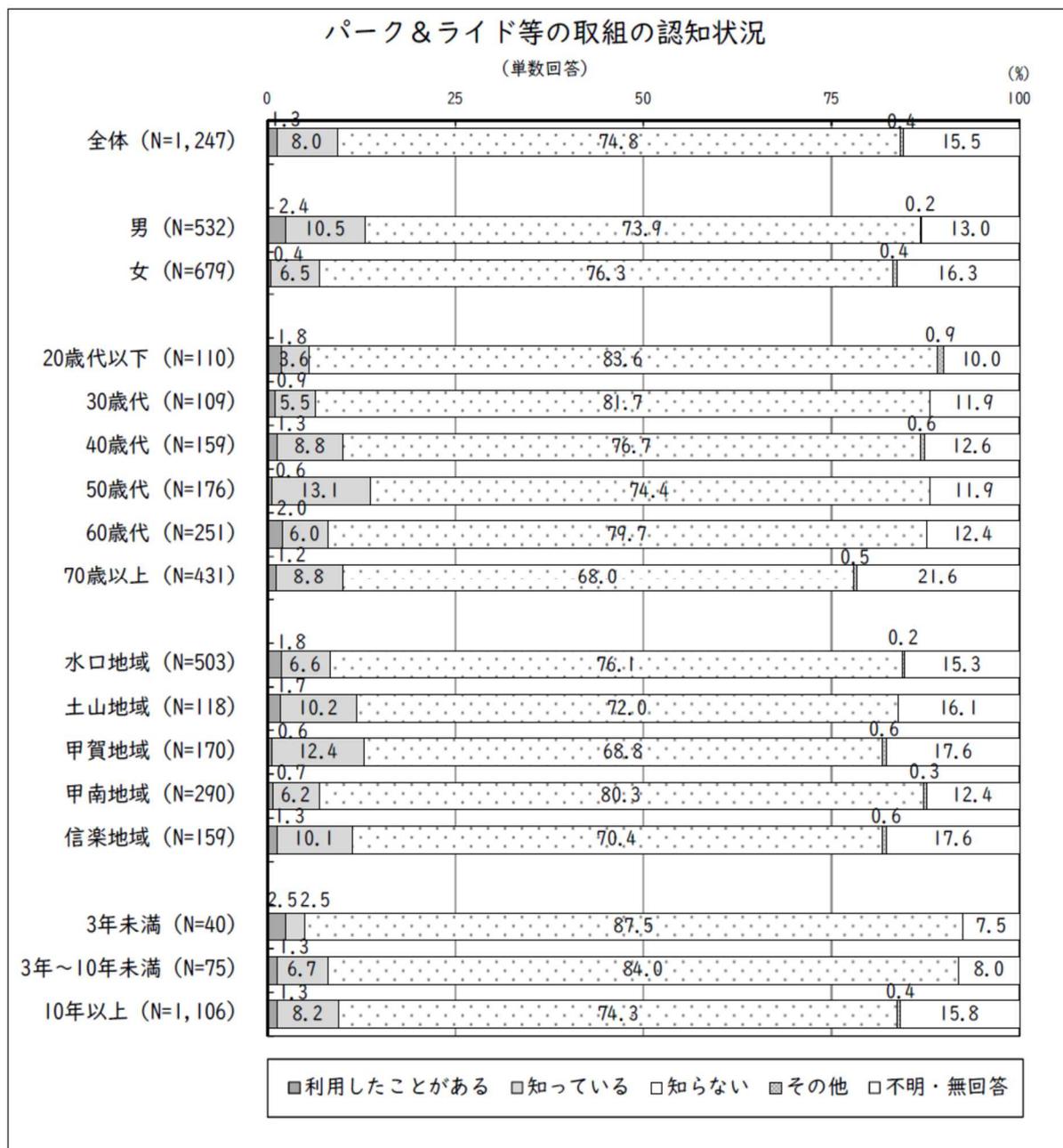
地域や年齢によって望まれていることが異なるが、全体では、JR草津線の利便性向上が約36%を筆頭に市内3鉄道で全体の半数となり、近距離移動を確保しながら、JR草津線をはじめとする広域移動の鉄道の利便性を改善することが本市の課題であるといえる。



・パークアンドライドの取り組みについて

本市では、市内に有する3鉄道合計14駅のうち9駅で市営や民間の駐車場があり、現状で多くの方にご利用いただいているため、「パークアンドライド」という言葉そのものになると、認知度が下がる結果となったものと考えている。

今後は、駐車場だけでなく駐輪場、レンタサイクルも含めた駅からの2次交通のわかりやすい情報提供が喫緊の課題であるといえる。



【評価項目3】

甲賀市コミュニティバスの利用者の少ない運行便数の割合：20%以下

- ・デマンドも含めた効率的な運行への改善により、起点から終点まで利用者のいない便を現在の約3分の2の割合に削減  
⇒甲賀市コミュニティバスの利用者無し運行便数の割合を集計し評価(中間年・目標年)  
※平成27年度利用者無し運行便数の割合：32.3%

令和2年度の利用者の少ない便(年間便あたり乗車数1名以下)の割合は以下、表-4のとおりである。

平成27年度と比較し、コロナ禍の中でも改善されているが、水口地域以外は20%を超えており、土山地域では25%となっているが、土山本線だけをみると、全61便中6便のみの約10%となっていることから、国道1号線から離れた地域の改善が必要である。

令和2年度の3月から、バスタイプ車両に乗降センサーを設置した。バス停ごとの利用状況の分析が可能になったことから、効率的な運行となるように路線やダイヤの見直し、デマンド運行方式も含め改善を進めていく。

(表-4 年間便あたり利用者が1人以下の便数)

単位:便

	水口	甲賀	甲南	土山	信楽	合計
運行便数	190	61	64	104	87	506
1以下	20	23	24	26	44	137
割合	10.5%	37.7%	37.5%	25.0%	50.6%	27.1%

(表-5 路線別乗車人員)

水口地域	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年実績	増減
八田線	3,823	2,888	7,893	8,595	5,769	7,710	8,204	7,177	7,259	6,121	5,910	6,351	77,700	82,947	-15,247
広野台線	2,968	2,699	4,153	4,118	3,247	3,916	4,277	4,001	3,947	3,270	3,231	4,007	43,834	53,598	-9,764
広野台・伴谷小ルート	0	40	503	494	147	479	507	423	440	270	290	280	3,873	3,178	695
和野・中畑線	1,110	1,266	3,590	3,727	2,416	3,153	3,458	2,942	3,053	2,681	2,739	3,213	33,348	36,207	-2,859
柏木巡回線	99	99	133	133	120	116	115	122	130	101	104	109	1,380	2,060	-680
三笠駅・市役所線	1,784	1,529	2,479	2,526	2,035	2,760	2,906	2,513	2,451	2,307	2,309	2,663	28,262	33,451	-5,189
貴生川・甲賀病院線	328	301	419	437	324	382	467	462	437	309	372	459	4,697	5,426	-729
コミタク貴生川エリア	200	157	225	242	174	203	222	223	222	171	173	226	2,538	2,963	-425
コミタク柏木エリア	236	194	307	354	272	285	356	349	359	251	312	310	3,585	3,806	-221
みなくちデマンド	0	14	15	4	3	2	0	1	2	1	0	7	49	36	13
合計	10,547	9,187	19,717	20,630	14,507	19,006	20,512	18,213	18,300	15,482	15,440	17,625	199,166	233,672	-34,506
前年比	53.3%	45.1%	92.7%	96.2%	95.9%	93.1%	92.1%	84.2%	90.0%	79.7%	83.7%	134.2%	85.2%		
土山地域	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年実績	増減
土山本線	6,339	5,825	13,525	13,699	10,163	13,108	14,354	13,230	13,155	11,001	10,714	12,143	137,256	164,937	-27,681
土山甲賀病院直達便	375	278	541	529	411	469	550	455	500	388	488	653	5,637	6,139	-502
大河原線	55	52	92	65	266	92	117	134	120	126	130	128	1,377	1,584	-207
山内巡回線	4	11	59	72	103	69	68	11	68	66	61	31	623	1,216	-593
大津・土山北巡回線	9	16	1,007	948	334	866	908	865	849	760	820	810	8,192	8,081	111
末野・大野小巡回線	21	8	492	514	250	481	515	444	489	436	382	403	4,435	5,046	-611
甲南線	139	82	298	510	186	280	365	261	336	246	179	220	3,102	3,072	30
南草津線	29	22	173	244	106	267	198	232	182	106	93	114	1,766	2,693	-927
土山SA線	0	0	2	6	1	1	1	1	0	0	0	1	13	39	-26
おのおのデマンド	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
土山北郡巡回線(令和2年3月廃止)	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	6	82	-82
コミタク土山エリア	6,971	6,295	16,189	16,588	11,820	15,633	17,076	15,834	15,702	13,130	12,867	14,509	162,414	192,941	-30,527
前年比	41.2%	35.5%	92.5%	97.5%	101.3%	90.7%	93.7%	83.2%	91.7%	81.6%	82.1%	161.8%	84.2%		
甲賀地域	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年実績	増減
大原線	73	179	1,168	1,233	505	1,108	1,213	1,117	1,107	901	1,075	1,005	10,684	12,347	-1,663
油日線	76	31	780	743	291	753	839	731	775	641	696	713	7,069	7,112	-43
佐山線	164	198	801	783	318	688	783	685	731	200	591	602	6,544	8,093	-1,549
広城水口線	742	746	1,246	1,259	882	1,090	1,394	1,212	1,216	1,001	1,062	1,398	13,248	14,658	-1,410
甲賀駅-甲賀病院直達便	17	14	20	21	18	16	16	15	25	12	18	21	213	212	1
合計	1,072	1,168	4,015	4,039	2,014	3,655	4,245	3,760	3,854	2,755	3,442	3,739	37,758	42,422	-4,664
前年比	31.4%	30.1%	95.8%	106.8%	145.0%	89.7%	96.0%	84.2%	98.0%	75.5%	90.3%	264.1%	89.0%		
甲南地域	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年実績	増減
池田-中野小学校	0	113	1,348	1,252	430	1,227	1,300	1,175	1,216	1,112	1,174	1,054	11,401	10,747	654
香住-甲賀-甲賀病院直達便	57	45	63	78	54	71	74	78	71	66	66	70	793	1,030	-237
環状伏線	175	170	184	173	135	196	224	218	195	141	152	204	2,167	2,527	-360
希望ヶ丘・水口線	1,223	1,213	1,597	1,723	1,389	1,685	1,757	1,574	1,655	1,366	1,459	1,667	18,308	24,228	-5,920
コミタク甲南エリア	206	225	1,015	965	430	912	966	999	1,056	914	973	1,042	9,703	9,587	116
合計	1,661	1,766	4,207	4,191	2,438	4,091	4,321	4,044	4,193	3,599	3,824	4,037	42,372	48,119	-5,747
前年比	40.7%	39.9%	94.2%	98.3%	101.5%	96.2%	92.4%	85.2%	94.2%	84.8%	98.9%	179.6%	88.1%		
信楽地域	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年実績	増減
朝宮線	808	621	2,697	2,650	1,774	2,480	2,770	2,276	2,124	1,998	1,850	1,773	23,821	28,630	-4,809
多羅尾線	542	443	630	596	458	543	655	579	697	516	487	635	6,781	10,908	-4,127
田代・畑・陶芸の森ルート	174	146	1,337	1,153	539	1,284	1,308	1,154	1,012	976	947	847	10,877	14,613	-3,736
コミタク神山江田エリア	186	204	230	265	228	275	298	296	341	238	254	331	3,136	2,457	679
コミタク貴生川エリア	86	53	422	447	263	403	430	397	394	349	367	406	3,857	4,470	-613
合計	1,786	1,467	5,316	5,111	3,202	4,985	5,451	4,702	4,568	4,077	3,905	3,992	48,572	61,078	-12,506
前年比	34.1%	24.9%	90.5%	101.4%	122.5%	87.6%	85.5%	74.7%	85.4%	76.1%	77.7%	173.4%	79.5%		
全地域	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年実績	増減
全路線	22,047	19,883	49,444	50,559	33,981	47,370	51,605	46,353	46,617	39,043	39,478	43,902	490,282	578,232	-87,950
前年比	44.6%	38.0%	92.8%	98.1%	102.3%	91.7%	92.2%	82.9%	91.0%	80.0%	84.3%	156.4%	84.8%		

コミバス  
コミタク

令和2年度コミバス利用者数	467,401	554,861	-87,460
令和2年度コミタク利用者数	22,881	23,371	-490
令和2年度利用者数総合計	490,282	578,232	-87,950

#### 【評価項目4】

甲賀市コミュニティバス・鉄道のバリアフリー対応車両導入：全ての車両のバリアフリー化

- ・今後、高齢者等の利用者が増加する可能性が高いことも踏まえ、バリアフリー対応車両を積極的に導入

⇒導入状況を把握し評価（中間年・目標年）  
※平成26年度3台、平成27年度2台のノンステップバスを導入

#### ・コミュニティバス

市コミュニティバスでは毎年、1～2台程度車両の更新を実施している。

現在、通常運行（故障や修理時以外）に使用している車両は38台あるが、うち6両が乗降口の段差に対応できていない。今年度についても2台を導入する予定である。

車いすを利用されるお客様への対応に関しては、上記の6両に加え、ハイエース車両3台で車いすから降りずに乗車することができない。

本市コミバスをはじめ多くの自治体で導入している「小型バス（下記写真）」では、車いすを利用するお客様でも比較的乗降しやすい性能となっているが、効率的で利便性の高い運行を進めていくためには、利用人員に応じたミニバス車両へのダウンサイズ化によるコストダウンや狭小路への進入などのきめ細かな路線設定、そしてデマンドタクシーの導入を進める必要がある。

そのため、高齢者や障がいを持つ方の移動の円滑化を確保する観点からも、福祉部局と連携しながら先進事例を参考に運行形態や導入する車両を検討していく必要がある。



#### ・鉄道

市が保有する信楽高原鐵道の車両4両を含め、JR草津線や近江鐵道が使用する車両はバリアフリー基準に基づく車両で運行されている。

## ●考察

市民意識調査の結果をもとに、計画に基づき4項目に分け評価を行ったが、平成29年10月のコミュニティタクシー導入による路線再編など、効率的かつ利便性の高い運行へ改善が進められている一方で、多様化するニーズに対応するため、新規路線の設定なども行っているが、利用人員の増加や経費の削減につながっておらず、市民意識調査についても厳しい評価となっている。

第1期(4年間)では、利用者数の少ないバス路線をデマンド方式に転換するコミュニティバス路線の再編に主眼が置かれていたが、次期4年間では、信楽高原鐵道沿線地域公共交通総合連携計画が終了し、近江鐵道の地域公共交通計画が策定されることとなり、市内3鐵道の利用者をしっかり確保していく観点も加えて交通網の利便性を向上させていく必要がある。

また、コロナ禍による人々の行動や生活様式の変化により、公共交通機関を控える動きがある一方、高齢化や車を持たない住民の移動を守るため、地域公共交通への依存は高まっていると考えている。

そのため、今年度は、第2次総合計画(第2期)としっかり連携をとりながら、「市民の豊かさ」に寄与する公共交通網を基幹交通である JR 草津線から、※ラストワンマイルの移動までを含めた市内の公共交通網の再編に向け、本計画の見直しを進め、今年度と令和4年度で再編の個別計画を作成していく。

※ラストワンマイル・・・自宅など最終の目的地から最寄りの駅(バス停)までの道のり

## 「近江鉄道沿線地域公共交通再生協議会」の進捗について

### 1 進捗概要について

平成28年度に近江鉄道(株)から、今後の近江鉄道のあり方についての検討要請があり、県、沿線10市町及び近江鉄道(株)とで協議を開始しました。県、沿線10市町、近江鉄道(株)及び関係団体が、鉄道線の現状分析を行い、県民や利用者へのアンケートを実施し、鉄道を廃止した場合に発生する経費や課題等を総合的に勘案した上で、慎重に協議を重ねてきた結果、令和2年3月の「近江鉄道沿線地域公共交通再生協議会」において全線の存続を決定したところです。

令和2年12月の同協議会においては、令和4年度から近江鉄道に対して、県及び沿線10市町が支援を開始し、令和6年度から公有民営による上下分離方式での運営に移行することを決定しました。その後、令和3年3月の同協議会において、県と沿線10市町の今後発生する費用負担の割合が決定したところです。現在、上下分離への移行に向けて準備を進めるとともに、地域交通計画の策定、近江鉄道の経営改善について検討しております。

近江鉄道は、沿線10市町約60kmを結ぶ県東部の重要な移動手段であり、利用者数は、コロナ禍の影響で減少しているものの、減少傾向にある地域鉄道の中では、横ばいで推移しています。また、築造から120年が経過する構造物が存在し、近年多発している自然災害への対応など維持管理経費の増大や少子化による通学定期利用者の減少が喫緊の課題となっております。

令和4年度からは、自治体の公的資金の投入が開始されることとなります。県民や市民の皆様が「残してよかった」と感じていただけるよう、引き続き事業者・県・市町が一体となり、経営改善はもとより、利用者の利便性向上に努めてまいります。

※ 現在までの検討経過、会議資料は滋賀県のホームページに掲載されております。

<https://www.pref.shiga.lg.jp/ippan/kendoseibi/koutsu/305179.html>

## 2 協議経過について

平成28年度より、今後の近江鉄道のあり方についての協議を開始しました

	主な経過
H28.6	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>近江鉄道から県へ検討要請</b></li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・長期にわたり営業損失が継続しており、<b>今後も利益が見込めない</b></li> <li>・今後、老朽化した<b>施設の更新に多額の設備投資</b>を必要</li> </ul> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">民間企業の<b>経営努力による事業継続は困難</b></p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;"><b>近江鉄道線や地域公共交通のあり方を検討する仕組みを構築してほしい</b></p> </div>
H29.1-H30.2	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「近江鉄道に関する勉強会」（県、沿線市町、近江鉄道）</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>＜勉強会内容＞ 鉄道事業の推移と今後の課題、沿線市町の利用状況等、利用促進策等、養老鉄道ヒアリングなど</p> </div>
H30.7	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 近江鉄道線のあり方検討に向けた「副首長級キックオフ会議」</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>県および市町は、<b>平成31年度中に「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」に基づき「法定協議会」設置を目指して検討を進めることを合意。</b></p> </div>
H30.12-R1.7	<ul style="list-style-type: none"> <li>● （仮称）近江鉄道線地域公共交通再生協議会設置準備調整会議</li> </ul>
R1.8	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 近江鉄道沿線自治体首長会議</li> </ul>
R1.11～	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>近江鉄道沿線地域公共交通再生協議会（法定協議会）の設置</b></li> </ul>

(近江鉄道沿線地域公共交通再生協議会の開催状況)

令和元年11月～令和3年3月までで、延べ6回開催しました

	主な議題等	備考
<b>第1回</b> 【R1.11.5】	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 規約の制定</li> <li>● 役員を選出</li> <li>● 事業計画（案）および収支予算（案）の承認</li> </ul>	「法定協議会」の設置
<b>第2回</b> 【R2.3.25】	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 近江鉄道線の存廃について</li> </ul>	 <b>「近江鉄道線の全線存続」を合意</b>
<b>第3回</b> 【R2.6.2】	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「近江鉄道線の全線存続」のイメージ</li> <li>● 近江鉄道線の全線存続に向けた検討課題と対応方策</li> </ul>	
<b>第4回</b> 【R2.8.18】	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 沿線地域の地域公共交通の課題</li> <li>● 沿線地域の目指す姿</li> <li>● 近江鉄道線の利便性向上策</li> <li>● 利用促進策検討分科会の設置</li> </ul>	
<b>第5回</b> 【R2.12.17】	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 令和6年度に公有民営の上下分離を実施</li> <li>● 令和3～5年度は、「上下分離への準備期間」とし、令和4年度より、運営改善と修繕、設備投資費に関して、自治体による支援を開始</li> </ul>	
<b>第6回</b> 【R3.3.22】	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 自治体間の費用負担割合の決定</li> <li>● 利用促進の取り組みについて</li> <li>● 令和3年度事業計画について</li> </ul>	

### 3 鉄道施設の概要について

本市区間は、5駅、6.6kmとなっております。

#### (1) 営業路線

営業 路線	線名	区間	営業キロ	駅数
	本線	米原 ~ 貴生川	47.7km	25駅
	八日市線	八日市 ~ 近江八幡	9.3km	6駅
	多賀線	高宮 ~ 多賀大社前	2.5km	2駅
	計		59.5km	33駅

#### (2) 施設および職員の数

区分		箇所数
施設	車両	43両（旅客車38、貨物車5）
	橋梁	120箇所（延1,788メートル）
	トンネル	2箇所（延488メートル）
	踏切	175箇所（第一種144、第四種31）
	変電所設備	4箇所
職員（鉄道部門）		103人（本社部門12人、現業部門91人）

H29年度鉄道統計年報(国土交通省)を加工して作成

## 4 利用状況について

### (1) 利用人数



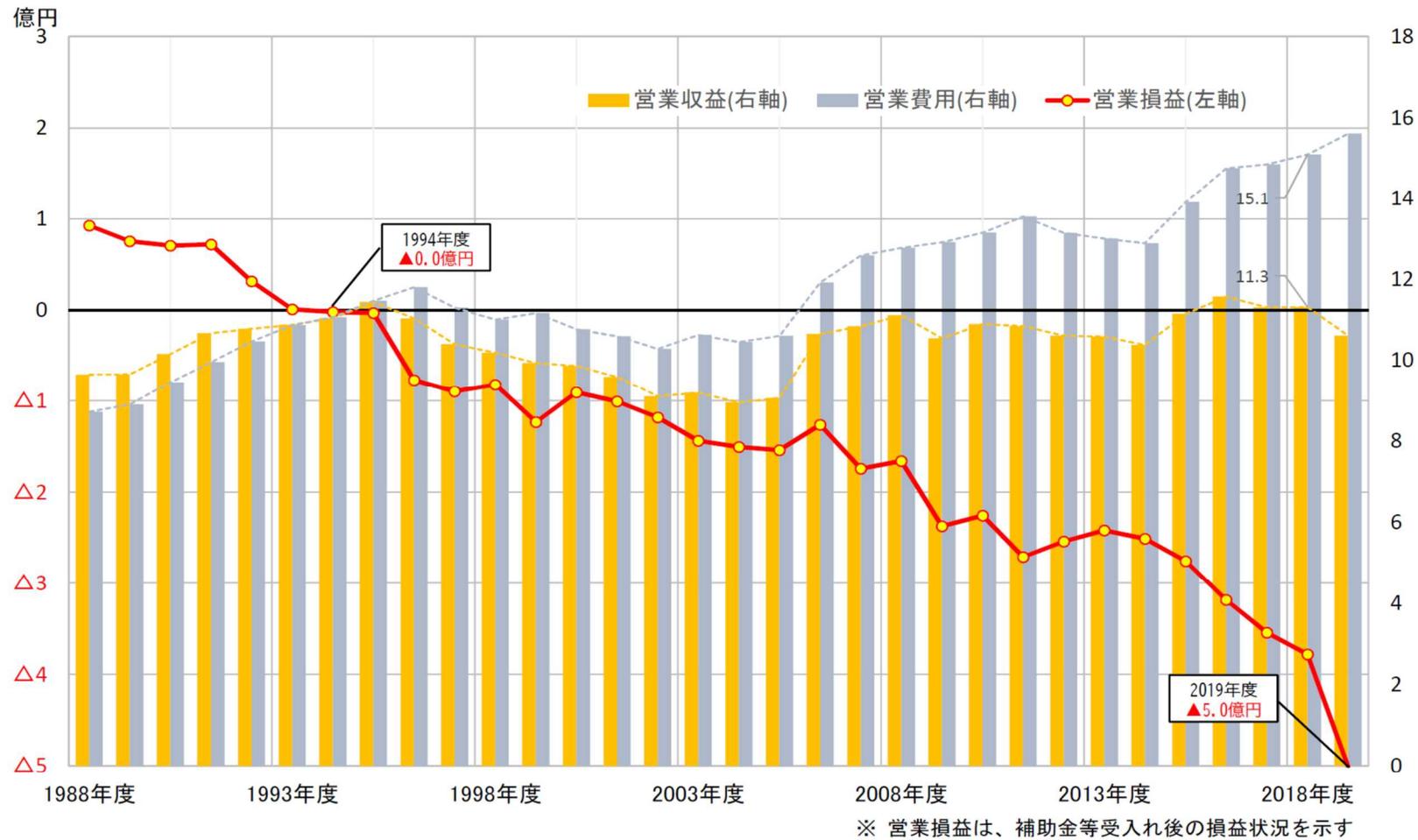
線区	営業キロ	輸送密度	最混雑列車
全線	59.5km	1,902人	253人
①米原～彦根	5.8km	692人	64人
<b>②彦根～高宮</b>	<b>4.1km</b>	<b>3,058人</b>	<b>167人</b>
③高宮～八日市	15.4km	1,559人	175人
④八日市～水口	18.5km	1,176人	167人
⑤水口～貴生川	3.9km	1,485人	109人
⑥高宮～多賀大社前	2.5km	598人	110人
<b>⑦八日市～近江八幡</b>	<b>9.3km</b>	<b>4,681人</b>	<b>253人</b>

◇輸送密度：1日1kmあたりの平均輸送量（平均通過人員）

◇2017年度の実績値。最混雑列車は2017年度の特定の日の数値

		年間乗車人員(人)					日当たり 乗車人数
駅		通勤	通学	定期券	定期外	計	
水口松尾	2018年度	4,740	10,110	14,850	8,644	23,494	64
	2017年度	5,070	12,240	17,310	3,284	20,594	56
前年比		93.5	82.6	85.8	263.2	114.1	
水口	2018年度	17,160	87,089	104,249	22,674	126,923	348
	2017年度	15,120	90,120	105,240	25,899	131,139	359
前年比		113.5	96.6	99.1	87.5	96.8	
水口石橋	2018年度	14,373	2,760	17,133	4,603	21,736	60
	2017年度	13,440	2,160	15,600	8,111	23,711	65
前年比		106.9	127.8	109.8	56.8	91.7	
水口城南	2018年度	77,991	56,942	134,933	59,640	194,573	533
	2017年度	76,860	59,610	136,470	62,218	198,688	544
前年比		101.5	95.5	98.9	95.9	97.9	
貴生川	2018年度	109,259	75,515	184,774	111,325	296,099	811
	2017年度	105,540	81,120	186,660	117,777	304,437	834
前年比		103.5	93.1	99.0	94.5	97.3	

## (2) 鉄道事業収支状況



- 1994年度から26年間営業赤字が継続。
- 施設維持更新費などの費用の増加により、赤字額は継続的に拡大。

4

## 5 上下分離による存続について

- ◆ 令和6年度から、自治体が鉄道施設等を保有し、事業者は運行に専念する「公有民営方式」に移行する。

### (1) 公有民営方式へ移行する効果

#### ① 持続可能で安定的な運行体制の実現

自治体が鉄道施設を保有することにより、安定的、継続的な運行と、地域の声を反映した輸送が実現できる。

#### ② 事業者と自治体の役割分担の明確化

鉄道運行は事業者、鉄道施設の保有は自治体と役割を分担することで、鉄道の維持存続に係る責任を明確化できる。

#### ③ 自治体の財政負担の軽減

国庫補助金や地方財政措置（起債、地方交付税）など国の支援により、自治体の財政負担を軽減できる。

### (2) 公有民営方式への移行に向けた取組等の流れ

#### <令和3年度～令和5年度>

##### ① 利用者の増加および鉄道事業収支の改善

沿線 自治体、鉄道事業者、沿線住民等が一体となって、利用促進等に取り組む。

#### <令和4年度>

##### ② 鉄道施設管理団体の設立

自治体が保有することになる鉄道施設・設備を管理する団体を設立。

#### <令和5年度>

##### ③ 鉄道事業再構築実施計画の策定

令和6年度から10年間で、運行事業者の収支均衡等を図ることを目指した計画を策定。

公有民営方式への移行  
(R6～)

## 6 自治体の費用負担について

### (1) 自治体の財政負担の対象

	財政負担の対象費用
令和4年度、5年度	鉄道事業者の設備投資費および修繕費 ※支援金額は設備投資費および修繕費の合計額を上限とするが、各年度の鉄道事業に係る事業者営業損失相当額がこれを下回る場合は、事業者営業損失相当額とする。
令和6年度以降 (公有民営化後)	公有化する鉄道施設に係る設備投資費および維持修繕費 等

※財政負担の対象は、現時点で自治体間で認識を共有できているものを記載している。

### (2) 県と沿線市町の負担割合

県：沿線市町 = 1 : 1 とする。

### (3) 沿線市町間の負担割合

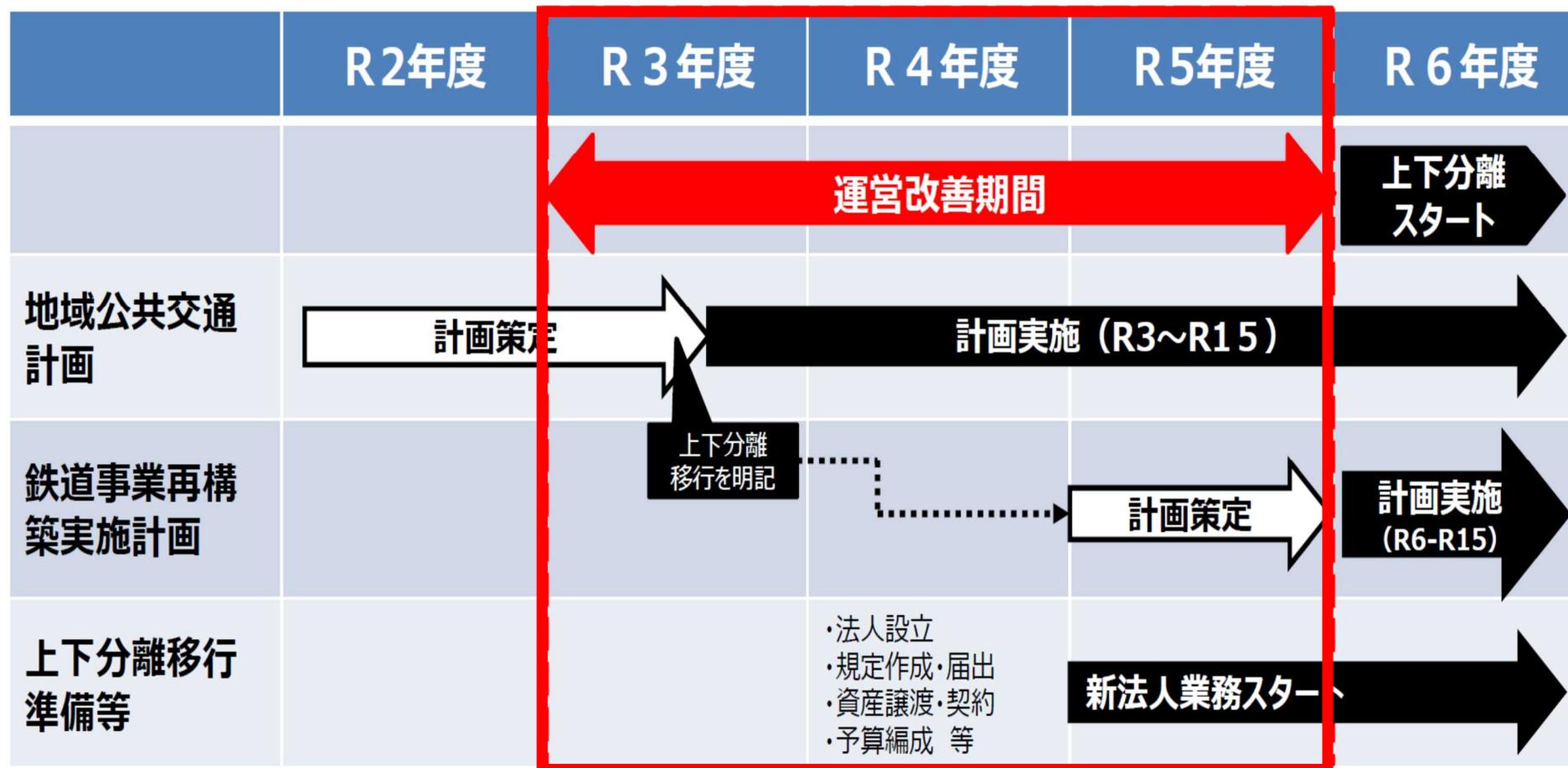
「①駅数、②営業キロ、③住民定期利用者数」の3つの指標に基づき、下記の按分割合により、沿線市町間の負担割合を定める。

按分指標	按分割合	東近江市	彦根市	甲賀市	近江八幡市	日野町	愛荘町	豊郷町	甲良町	多賀町	米原市
駅数	50%	39.4%	21.2%	15.2%	6.1%	3.0%	3.0%	3.0%	3.0%	3.0%	3.0%
営業キロ	20%	34.7%	16.7%	11.2%	7.1%	9.6%	5.8%	5.0%	3.9%	2.5%	3.5%
住民定期利用者数	30%	49.0%	12.9%	6.3%	10.6%	8.7%	5.4%	2.0%	2.2%	2.0%	0.8%



	東近江市	彦根市	甲賀市	近江八幡市	日野町	愛荘町	豊郷町	甲良町	多賀町	米原市	県	計
市町間負担割合	41.33%	17.81%	11.71%	7.63%	6.05%	4.29%	3.13%	2.95%	2.62%	2.48%	-	100.00%
【参考】 県市町間負担割合	20.67%	8.91%	5.85%	3.81%	3.02%	2.15%	1.57%	1.47%	1.31%	1.24%	50.00%	100.00% <sup>16</sup>

7 今後のスケジュールについて



## 令和2年度事業報告

「住みよさと活力を支え、使いやすい地域公共交通の確保・維持」を目指し、効率的で持続可能な公共交通体系を構築するため、以下の事業を実施しました。

### 1 「甲賀市地域公共交通網形成計画」の進捗管理

令和2年9月に実施しました市民意識調査の結果に基づき、策定後4年間の中間評価を実施しました。（報告第2号）

### 2. コミュニティバス・タクシーの路線改定および改善

利用者の実態に即したコミュニティバスのダイヤ調整及び利用状況に即した効率的かつ利便性が高いコミュニティバス路線を実現するため、以下のとおり路線や時刻の改定および改善を行いました。

#### ○鉄道との接続利便性向上

- ・信楽駅、貴生川駅、南草津駅に発着する一部の便について、鉄道との乗換時間を確保できるようバス時刻を見直しました。
- ・広野台線の三雲駅発着便を増便し、利便性を高めました。

#### ○コミタク停留所の新設について

- ・土山SA停留所等、新たなコミタク停留所を新設し、利便性を向上しました。

#### ○学校の通学時刻を考慮したバス時刻の見直し

- ・市内小学校の通学時刻を考慮し、バス時刻の見直しを実施しました。

### 3. 分かりやすく使いやすい公共交通網とするための取り組み

利用者に分かりやすく・安心安全に利用していただけるよう、以下の取り組みについて実施しました。

#### ○Google等の乗り換え検索に対応

- ・コミュニティバス運行情報をGoogleマップへ登録し、マップ上でコミュニティバスの乗換検索ができるようになりました。出発地と目的地を入力するだけで、最寄りのバス停までの経路やバスの乗継情報なども一目で把握することができます。
- ・その他、Yahoo乗り換え検索等、他の検索サイトでの表示にも対応しました。

#### ○ICTを活用したサービス向上の取り組み

- ・貴生川駅・甲賀市役所・公立甲賀病院・信楽駅にデジタルサイネージを設置しました。行先、経由地、混雑度等の情報が確認できます。また、各バス停に設置したQRコードをスマホで読み取ることで、サイネージと同様に、バスの現在地や運行情報を確認できるようにしました。
- ・バス車内に乗降センサーを設置し、バス停ごとの利用者を把握することが可能になりました。今後の路線網の改善に活用していきます。

#### ○貴生川駅の乗り継ぎ環境の整備

- ・貴生川駅でのコミュニティバスの乗場が分かりにくいといったご意見がありましたので、デジタルサイネージの導入に合わせて、乗場番号と系統番号（系統ごとに「A1」や「B1」など）を割付けました。

#### ○市ホームページやSNSの積極的な活用

- ・市ホームページやSNSにより、運行情報やイベント情報を積極的に案内しました。
- ・市ホームページで時刻表をダウンロードできるようにしました。

## ○甲賀市公共交通連携時刻表の作成【令和3年4月1日改定分】

- ・内 容 令和3年4月1日改定のコミュニティバスを中心に市内公共交通の時刻表（接続時刻）を掲載
- ・発行部数 エリア版 28,700部（B3判 カラー 4～8ページ）  
ポケット版 15,000部（ポケット版 カラー 64ページ）
- ・配布先 エリア版 市内全戸配布  
ポケット版 市内各駅・市役所・公共施設等に配布

## 4. 人と環境にやさしい地域公共交通づくり

- ・モビリティ・マネジメントの推進  
市ホームページ・広報紙を通じての利用促進啓発や小学生を対象とした公共交通についての交通環境学習を実施しました。（R2実績：土山小1～6年生、伴谷小4年生、綾野小2年生）

## 5. 新型コロナウイルス感染症対策の実施

- ・公共交通機関を安心して利用いただけるよう、駅や車内での啓発や手が触れる機会が多い箇所に抗菌コーティングを実施しました。  
（実施個所：信楽高原鐵道車両、コミュニティバス車両、信楽駅・市内JR草津線5駅、近江土山駅）

## 6. 会議関係

令和2年度の協議会開催実績は以下のとおりです。

開催日	事項	内容
書面決議	第1回甲賀市地域公共交通活性化協議会 総会	令和元年度事業報告及び決算について 令和2年度事業計画及び予算（案）について
令和3年2月14日	第2回甲賀市地域公共交通活性化協議会 総会	令和2年度事業進捗・近江鉄道沿線地域公共交通再生協議会の進捗について
令和3年2月14日	第2回甲賀市地域公共交通活性化協議会 自動車部会	甲賀市コミュニティバス・タクシー路線について（令和3年4月1日改定）

## 7. 令和2年度甲賀市コミュニティバス・コミタクの利用実績について

次ページに「令和2年度甲賀市コミュニティバス路線別利用実績」として、各地区の路線別利用者数を掲載しております。

市内全体の利用者数は、昨年度と比較して約87,950人減少（前年度比▲16%）しております。新型コロナウイルス感染症の影響があり、利用者が大幅に減少したものと考えられます。

水口地域	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年実績	増減
八田線	3,823	2,888	7,893	8,595	5,769	7,710	8,204	7,177	7,259	6,121	5,910	6,351	77,700	92,947	-15,247
広野台線	2,968	2,699	4,153	4,118	3,247	3,916	4,277	4,001	3,947	3,270	3,231	4,007	43,834	53,598	-9,764
広野台・伴谷小ルート	0	40	503	494	147	479	507	423	440	270	290	280	3,873	3,178	695
和野・中畑線	1,110	1,266	3,590	3,727	2,416	3,153	3,458	2,942	3,053	2,681	2,739	3,213	33,348	36,207	-2,859
柏木巡回線	98	99	133	133	120	116	115	122	130	101	104	109	1,380	2,060	-680
三雲駅・市役所線	1,784	1,529	2,479	2,526	2,035	2,760	2,906	2,513	2,451	2,307	2,309	2,663	28,262	33,451	-5,189
貴生川・甲賀病院線	328	301	419	437	324	392	467	462	437	309	372	459	4,697	5,426	-729
コミタク貴生川エリア	200	157	225	242	174	203	222	223	222	171	173	226	2,438	2,963	-525
コミタク柏木エリア	236	194	307	354	272	285	356	349	359	251	312	310	3,585	3,806	-221
みなくちデマンド	0	14	15	4	3	2	0	1	2	1	0	7	49	36	13
合計	10,547	9,187	19,717	20,630	14,507	19,006	20,512	18,213	18,300	15,482	15,440	17,625	199,166	233,672	-34,506
前年比	53.3%	45.1%	92.7%	96.2%	95.9%	93.1%	92.1%	84.2%	90.0%	79.7%	83.7%	134.2%	85.2%		

土山地域	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年実績	増減
土山本線	6,339	5,825	13,525	13,699	10,163	13,108	14,354	13,230	13,155	11,001	10,714	12,143	137,256	164,937	-27,681
土山甲賀病院直通便	375	278	541	529	411	469	550	455	500	388	488	653	5,637	6,139	-502
大河原線	55	52	92	65	266	92	117	134	120	126	130	128	1,377	1,584	-207
山内巡回線	4	11	59	72	103	69	68	11	68	66	61	31	623	1,216	-593
大澤・土山北巡回線	9	16	1,007	948	334	866	908	865	849	760	820	810	8,192	8,081	111
末田・大野小巡回線	21	8	492	514	250	481	515	444	489	436	382	403	4,435	5,046	-611
甲南線	139	82	298	510	186	280	365	261	336	246	179	220	3,102	3,072	30
南草津線	29	22	173	244	106	267	198	232	182	106	93	114	1,766	2,693	-927
土山SA線	0	0	2	6	1	1	1	1	0	0	0	1	13	39	-26
おおのデマンド	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
土山北部巡回線(令和2年3月廃止)													0	82	-82
コミタク土山エリア	0	1	0	1	0	0	0	1	3	1	0	6	13	52	-39
合計	6,971	6,295	16,189	16,588	11,820	15,633	17,076	15,634	15,702	13,130	12,867	14,509	162,414	192,941	-30,527
前年比	41.2%	35.5%	92.5%	97.5%	101.3%	90.7%	93.7%	83.2%	91.7%	81.6%	82.1%	161.8%	84.2%		

甲賀地域	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年実績	増減
大原線	73	179	1,168	1,233	505	1,108	1,213	1,117	1,107	901	1,075	1,005	10,684	12,347	-1,663
油日線	76	31	780	743	291	753	839	731	775	641	696	713	7,069	7,112	-43
佐山線	164	198	801	783	318	688	783	685	731	200	591	602	6,544	8,093	-1,549
広域水口線	742	746	1,246	1,259	882	1,090	1,394	1,212	1,216	1,001	1,062	1,398	13,248	14,658	-1,410
甲賀駅-甲賀病院直通便	17	14	20	21	18	16	16	15	25	12	18	21	213	212	1
合計	1,072	1,168	4,015	4,039	2,014	3,655	4,245	3,760	3,854	2,755	3,442	3,739	37,758	42,422	-4,664
前年比	31.4%	30.1%	95.8%	106.8%	145.0%	89.7%	96.0%	84.2%	98.0%	75.5%	90.3%	264.1%	89.0%		

甲南地域	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年実績	増減
池田-中部小学校	0	113	1,348	1,252	430	1,227	1,300	1,175	1,216	1,112	1,174	1,054	11,401	10,747	654
寺庄-甲南-甲賀病院直行便	57	45	63	78	54	71	74	78	71	66	66	70	793	1,030	-237
環状線	175	170	184	173	135	196	224	218	195	141	152	204	2,167	2,527	-360
希望ヶ丘・水口線	1,223	1,213	1,597	1,723	1,389	1,685	1,757	1,574	1,655	1,366	1,459	1,667	18,308	24,228	-5,920
コミタク甲南エリア	206	225	1,015	965	430	912	966	999	1,056	914	973	1,042	9,703	9,587	116
合計	1,661	1,766	4,207	4,191	2,438	4,091	4,321	4,044	4,193	3,599	3,824	4,037	42,372	48,119	-5,747
前年比	40.7%	39.9%	94.2%	98.3%	101.5%	96.2%	92.4%	85.2%	94.2%	84.8%	98.9%	179.6%	88.1%		

信楽地域	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年実績	増減
朝宮線	808	621	2,697	2,650	1,774	2,480	2,770	2,276	2,124	1,998	1,850	1,773	23,821	28,630	-4,809
多羅尾線	542	443	630	596	458	543	655	579	697	516	487	635	6,781	10,908	-4,127
田代・畑・陶芸の森ルート	174	146	1,337	1,153	539	1,284	1,308	1,154	1,012	976	947	847	10,877	14,613	-3,736
コミタク神山江田エリア	186	204	230	265	228	275	288	296	341	238	254	331	3,136	2,457	679
コミタク宮町エリア	86	53	422	447	203	403	430	397	394	349	367	406	3,957	4,470	-513
合計	1,796	1,467	5,316	5,111	3,202	4,985	5,451	4,702	4,568	4,077	3,905	3,992	48,572	61,078	-12,506
前年比	34.1%	24.9%	90.5%	101.4%	122.5%	87.6%	85.5%	74.7%	85.4%	76.1%	77.7%	173.4%	79.5%		

全地域	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年実績	増減
全路線	22,047	19,883	49,444	50,559	33,981	47,370	51,605	46,353	46,617	39,043	39,478	43,902	490,282	578,232	-87,950
前年比	44.6%	38.0%	92.8%	98.1%	102.3%	91.7%	92.2%	82.9%	91.0%	80.0%	84.3%	156.4%	84.8%		

	コミバス
	コミタク

令和2年度コミバス利用者数	467,401	554,861	-87,460
令和2年度コミタク利用者数	22,881	23,371	-490
令和2年度利用者数総合計	490,282	578,232	-87,950

令和2年度収支決算報告(令和2年4月～令和3年3月)

収入の部

(単位:円)

科目	本年度 予算額(A)	収入済額 (B)	比較増減 (B-A)	備 考
負担金	3,273,000	2,833,096	△ 439,904	甲賀市負担金:2,833,096円
繰越金	604	604	0	繰越金:604円
諸収入	200,396	100,015	△ 100,381	預金利息:15円 甲賀市公共交通連携時刻表広告掲載料:100,000円
合 計	3,474,000	2,933,715	△ 540,285	

支出の部

(単位:円)

科目	本年度 予算額(A)	支出済額 (B)	比較増減 (B-A)	備 考
会議費	130,000	37,220	△ 92,780	委員謝礼:35,000円、会議茶代:2,220円
事務費	20,000	21,752	1,752	振込手数料:6,270円、郵送料:15,482円
事業費	3,323,000	2,874,124	△ 448,876	R3.4.1改定甲賀市公共交通連携時刻表作成 ポケット版時刻表:1,970,100円 エリア版時刻表:765,974円 その他 コミバスフリー乗車券作成:48,950円 貴生川駅バス案内看板改修費用:89,100円
予備費	1,000	0	△ 1,000	
合 計	3,474,000	2,933,096	△ 540,904	

収 入 合 計      2,933,715 円

支 出 合 計      2,933,096 円

翌 年 度 繰 越 額      619 円

## 令和2年度収支決算報告説明資料

### 【収入の部】

負担金については、2,833,096円であり、本年度予算額より439,904円の減となりました。繰越金については、昨年度からの繰越金額604円を収入しました。

諸収入については、令和2年度の預金利息と広告料の100,015円を収入し、本年度予算額より100,381円の減となりました。バス時刻表への広告掲載を希望される事業者がいましたが、当初想定していた金額に満たなかったため、本年度予算額より減収となりました。

以上により、収入の部合計については、2,933,715円となり、本年度予算額より540,285円の減となりました。

### 【支出の部】

会議費については、37,220円であり、委員謝礼、会議茶代の支出が予算見込み時よりも少額の支出となったことから、本年度予算額より92,780円の減となりました。

事務費については、21,752円であり、コロナウイルス感染拡大防止のため、総会を書面決議による開催とした影響もあり、郵送にかかる費用が多額となったため、本年度予算額より1,752円の増となりました。

事業費については、2,874,124円であり、備考欄に記載のある時刻表の作成等に支出を行いました。

予備費については、支出なしとなりました。

以上により、支出の部合計については、2,933,096円となり、本年度予算額より540,904円の減となりました。

- ・収入合計2,933,715円
- ・支出合計2,933,096円
- ・翌年度繰越額619円（収入の部：令和元年度からの繰越金604円＋令和2年度諸収入（利息）15円）

以上により、翌年度へ619円繰越します。

## 監 査 書

令和2年度甲賀市地域公共交通活性化協議会の収支決算について、諸帳簿および証拠書類を慎重に監査いたしましたところ、いずれも適正なものと認めます。

令和3年4月30日

甲賀市地域公共交通活性化協議会

監査委員 西田 博 

監査委員 吉川 徹 

## 令和3年度事業計画（案）

### ○基本方針

本市では、JR草津線や近江鉄道、信楽高原鐵道が基幹交通として、市内を縦横に運行しています。また、広大な市域全体を公共交通網でカバーするコミュニティバス、コミュニティタクシーが県内でも有数の路線を運行しています。

しかしながら、少子高齢化等の影響で公共交通機関の利用減少により、乗車料金の減収が見込まれるなかで、利用者のニーズはより高度かつ多様化しており、限りある資源の中で利便性の高いきめ細やかなサービスが求められております。

そのため、「甲賀市地域公共交通網形成計画」に基づき、市民の身近な交通として地域公共交通を将来にわたって「住みよさと活力を支え、使いやすい地域公共交通」を維持・確保してまいります。

### ○事業計画

基本方針の実現に向けて、以下の事業を推進するとともに、新型コロナウイルス感染症対策を施しながら、市民生活の確保、維持を図ってまいります。

- (1) 「甲賀市地域公共交通網形成計画」の進捗管理
  - ・計画の評価結果に基づき、次期交通網再編方針の作成
  - ・近江鉄道沿線地域公共交通再生協議会の進捗報告
- (2) 分かりやすく使いやすい地域公共交通網への再編
  - ・利用状況に応じたダイヤ調整や効率的な路線再編の検討
  - ・観光と連携した路線の導入検討
  - ・ICTを活用した運行状況の把握、サービス向上策の検討
- (3) 乗り継ぎ利便性の向上
  - ・主要停留所や老朽化した停留所の乗り継ぎ環境の改善
  - ・鉄道駅での乗り継ぎ時間の改善
- (4) わかりやすい情報提供と認知度向上による利用促進
  - ・わかりやすい時刻表の作成、多様な媒体による情報提供
  - ・イベントの場を活用した地域公共交通の周知
- (5) 人と環境にやさしく地域で守り育てる地域公共交通づくり
  - ・自治振興会等との連携した利用促進
  - ・モビリティ・マネジメントの推進
  - ・小学生への交通学習の推進
  - ・バリアフリーや環境対応車両への更新
- (6) 新型コロナウイルス感染症対策の実施
  - ・感染拡大の防止対策の継続実施
  - ・お客様への感染防止マナーの遵守啓発

## 令和3年度収支予算(案)

### 収入の部

(単位:円)

科目	本年度 予算額(A)	前年度 予算額(B)	比較増減 (A-B)	備 考
負担金	3,273,000	3,273,000	0	甲賀市負担金
繰越金	619	604	15	繰越金
諸収入	200,381	200,396	△ 15	預金利息 381円 時刻表への広告掲載料 50,000円×4者 = 200,000円
合 計	3,474,000	3,474,000	0	

### 支出の部

(単位:円)

科目	本年度 予算額(A)	前年度 予算額(B)	比較増減 (A-B)	備 考
会議費	120,000	130,000	△ 10,000	委員謝礼、会議茶代
事務費	30,000	20,000	10,000	振込手数料、郵送代
事業費	3,323,000	3,323,000	0	時刻表(エリア版)作成 700,000円 時刻表(全域版)作成 1,600,000円 時刻表改訂版 作成 等 1,023,000円
予備費	1,000	1,000	0	
合 計	3,474,000	3,474,000	0	

## 令和3年度収支予算（案）説明資料

### 【収入の部】

負担金は、甲賀市からの負担金により、昨年度と同額である3,273,000円を見込んでおります。

繰越金は、令和2年度からの繰越金619円を令和2年度の収入として計上しております。

諸収入は、預金利息の381円に加え、時刻表への広告掲載料として、200,000円を見込んでおります。

以上により、合計3,474,000円を令和3年度の収入として計上します。

### 【支出の部】

会議費は、委員謝礼、会議茶代等であり、120,000円の支出を見込んでおります。

事務費は、振込手数料等であり、30,000円の支出を見込んでおります。

事業費は、時刻表の作成にかかる費用が多く支出割合となることが想定され、市内各家庭へ配布予定のエリア版時刻表の作成にかかる金額の700,000円、市内各公共施設へ配置予定のポケット版時刻表の作成にかかる金額の1,600,000円を支出金額として見込みます。また、年度途中で時刻表の改定がある際の時刻表作成費用、利用促進のためのコミュニティバス1日フリー乗車券作成にかかる費用として1,023,000円を計上しております。これらの合計金額3,323,000円を事業費支出金額として計上しております。

予備費については、昨年と同額の1,000円を見込んでおります。

以上により、合計金額3,474,000円を令和3年度の支出として計上します。

## 第5号議案

## 土山地域のコミュニティバス停留所新設について

今回新設する土山町大澤地区については、5月より、新名神高速道路の6車線化工事により、ダンプトラック等の工事車両が集落内の生活道路を通過いたします。

現在、大澤地区のバス停は、「大澤」停留所の1箇所ですが、小学生が帰宅時にバス停から約300mを徒歩で移動しておりますが、交通量が増加することから、大変危険な状況となっておりますので、工事期間中、以下のとおり停留所を新設することで登下校時の安全を確保します。

なお、工事については、約2年間で予定されております。

### 停留所位置

